

池田町総合教育会議 議事概要

- 1 開催日時 令和2年3月6日（金）16:00～17:10
- 2 場 所 池田町文化交流会館2階 大会議室
- 3 出席者 委員6名 関係者1名 事務局3名 計10名（欠席者なし）

【委員（役職名）】

佐藤 秀幸 （教育長職務代理者）
佐飛 正美 （教育委員）
岸本 英明 （教育委員）
南田 哲也 （教育委員）
杉本 博文 （池田町長）
内藤 徳博 （池田町教育長）

【関係者（役職名）】

溝口 淳 （池田町副町長）

【事務局（役職名）】

内藤 則幸 （池田町教育委員会教育企画官）
飯田 康志 （池田町教育委員会事務局課長代理）
山本 弘紀 （池田町教育委員会事務局主幹）

4 開 会

5 町長挨拶

本日は、昨年2月に策定した池田町教育大綱の実行計画としての、池田町学校教育向上プランに基づく今年度の取組みの実施状況をご報告し、それらの成果や課題を踏まえての令和2年度予算（案）について説明します。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止のための政府要請に伴い、本町でも実施している小中学校の臨時休校の状況や対応について説明します。

6 教育長挨拶

本日は、池田町学校教育向上プランの取組みの実施状況のご報告と令和2年度予算（案）についての説明を致しますので、皆さまのご意見等をいただきたい。

7 新型コロナウイルス感染拡大予防のための小中学校休校措置について
(別添資料にて事務局より説明)

8 協議事項

(1) 令和元年度の学校教育向上プランの実施状況について
(別添資料にて教育長より説明)

町 長

委員の皆さんのご意見を伺いたい。

委員 A

協同的学びが有効的なことは理解できる。一方で、これまでの学びについても基礎学力をつけていくということはとても重要なことであるので、大切にしていかななくてはいけないと思う。

そして、私が懸念するのは、先生方の負担感が増してしまうのではないかという点である。協同的学びの推進には、課題設定がとても大事だと思う。先生方には、これまでの業務に課題を考える時間が新たに加わるような形になり、そのことで帰る時間が遅くなったり、持ち帰って仕事をするということがないようにしてほしい。現場の先生方の負担というものにも配慮していただき進めていって欲しいと思う。

教育長

現場の負担増に繋がらないよう、事務の負担軽減など教育委員会事務局としてもしっかりと環境整備を図っていきたい。

委員 A

協同的学びについては評価が難しいと思う。評価基準というのが一律のテストでということではないから、一人一人をどう評価していくのが難しいと思う。

町 長

評価については一朝一夕にというのではなく、子ども達が協同で学ぶことによって、僕は私はこう思うということが言えるような人づくりをしていくことが大切であると思っている。ただ、現場としてはそう簡単には変えられないし、保護者の皆様にとっても不安があることも承知している。そのような中で現在、教育委員会が中心となって、先生方や子ども達とも対話をしながら一緒になって手探りで少しずつ着実に臨んでいこうとしている。教育委員の皆様にも、保護者や社会の方々への

助言や意見等のご支援をお願いしたい。

- (2) 令和2年度の教育費予算について
(別添資料にて事務局より説明)

委員 B

高齢者の方で、移動図書館のようなものがあるといいという意見をいただいた。何か、そういったことができないか。

教育長

現在もリクエストを受けたりしてはいるが、どうしても交通手段がなかったりという方々には、何かしらの方法で本をお届けできるよう考えたい。

町 長

すべての本を積んでいくということは難しいので、どのようなジャンルがいいのかといったことなどもお聞きできるといいと思う。既存のサービスと組み合わせるなどして実現できないかとも考えるが、一方で高齢者の方々には家にこもらずできるだけ活動してもらおうと、ふくタク事業等も実施しているので、それらとも調整をしてご期待に沿えるようなものにしていきたい。

8 閉 会